

中国、長期的な成長に向け規制を強化

ポイント① 富裕層を中心に規制を強化

現在、中国政府は富裕層や企業を中心に、様々な規制を強化しています。中国では新型コロナウイルスによる金融緩和によって潤沢となった資金が不動産市場に流れ込んでおり、中古物件を中心に住宅価格が上昇していました。しかし、政府は住宅を投機目的で購入しないように規制を強化しており、足元の住宅価格は上昇率が鈍化しています。一部地域では、既に住宅を購入した人は新たに住宅を購入できない制度等の導入も検討されています。

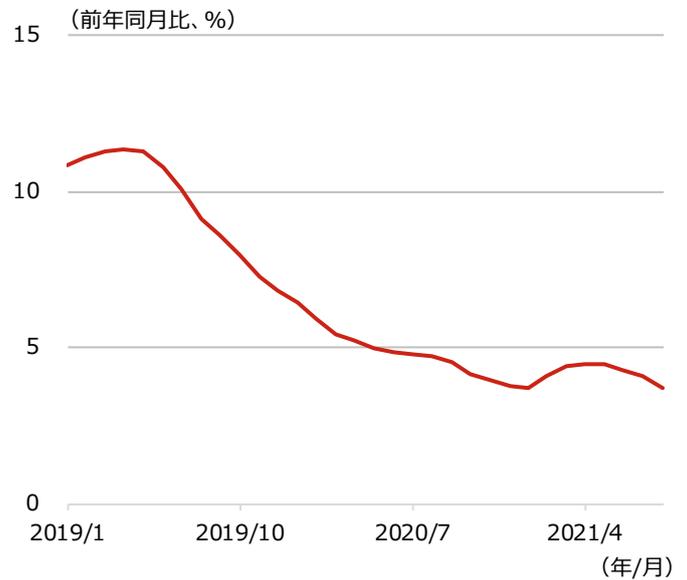
ポイント② 企業に対する風当たりも強い

富裕層だけではなく、企業への規制の圧力も増えています。6-7月頃には香港上場のアリババやテンセント等の大手テック企業が独占禁止法等の規制を受けて香港ハンセン指数は急落、教育産業でも学習塾が学校のカリキュラムを営利目的で教えることを禁止する規制を受け更に下落しました。その後、相場は一時回復しましたが、9月にゲーム業界で18歳未満のオンラインゲームユーザーを対象にプレイ時間が週3時間に制限され、安値を更新しました。

ポイント③ 規制は今後の成長のため

政府は可処分所得を圧迫している不動産・教育産業等への規制により、所得格差の解消を図っています。テック企業には利益のみならず社会的責任も追及することで中長期的な発展を促し、米国に追随する企業の輩出を目指しているようです。足元では規制により業績が揺らいでいる企業も見られるため株価は軟調に推移しておりますが、政府による規制は中国の成長のための施策でもあるので、そうした理解が進めば株価も見直されるでしょう。

主要70都市の新築販売用住宅価格の上昇率



期間：2019年1月～2021年8月、月次
(出所) Bloombergより野村アセットマネジメント作成

香港ハンセン指数の推移



期間：2021年1月4日～2021年9月16日、日次
(出所) Bloombergより野村アセットマネジメント作成

**重要
イベント**

- 9月30日 中国製造業、非製造業PMI (購買担当者景気指数、9月)
- 10月13日 中国貿易収支 (9月)